

研究実施のお知らせ

2016年9月15日 ver.1.0

研究課題名

島根大学医学部附属病院における気管切開術後患者に対する喉頭気管分離術の術式についての検討

研究の対象となる方

2009年6月から2016年7月の間に島根大学医学部附属病院で喉頭気管分離術受けられた方で、以前に気管切開術を受けられていた方

研究の目的・意義

喉頭気管分離術は確実に誤嚥を防止できる術式ですが、術後に気管腕頭動脈瘻などの重篤な合併症を起こす危険性があります。この危険性を少しでも軽減するために、様々な術式の工夫や管理の工夫が行われています。

気管切開術後に誤嚥性肺炎を繰り返す方に対して喉頭気管分離術を行う場合に、当科では、気管切開孔を切除する方法と温存する方法の2つの術式を行っています。この2つの術式の有用性と安全性を比較検討します。

研究の方法

以前に気管切開術を受け、当科で喉頭気管分離術受けられた方を対象に、気管切開孔を切除する方法と温存する方法の2つの術式に分けて、手術時年齢、性別、基礎疾患、手術時間、出血量、術後合併症について診療録をもとに比較検討します。個人の特定につながる可能性のある情報は一切使いません。なお、本研究の解析・検討は、島根大学のデータを匿名化して岡山医療センターで行います。

研究の期間

臨床研究審査委員会承認後、研究実施許可日～2017年11月

研究組織

研究代表者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座/附属病院小児外科 石橋 脩一

参加研究機関

[研究機関]

島根大学医学部附属病院小児外科

NHO 岡山医療センター 小児外科

[研究責任者]

石橋 脩一

仲田 惣一

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2017年11月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

当院研究責任者：仲田 惣一

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 小児外科

〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1

電話：086-294-9911 FAX：082-294-9255

研究代表者：石橋 脩一

島根大学医学部消化器・総合外科学講座/附属病院小児外科

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232